

2026

1/13

TUE

18:10 - 19:40

フラメンコ、 カスタネット、 詩の夕べ

フラメンコはスペインの伝統舞踊として有名ですが、踊り単独で成立するものではなく、歌や、ギター、カスタネットといった楽器、そしてかつて「ジプシー」と呼ばれた放浪の民族の詩と密接なつながりをもっています。このたび、フラメンコの踊り手として長年活動されてきた荻山幸子氏を迎え、ギタリストの稲津清一氏、歌の永瀧三貴生氏とともに、成城大学の一角に異国の風を吹かせたいと思います。

ワークショップ プログラム

- ◆「セビジャーナス(セビリアの民族舞踊)」1番の振り付けとカスタネット体験
- ◆ ロルカの「ジプシー歌集」から朗読+実際にギターと歌に合わせて即興的に踊る



荻山 幸子 Ogiyama Sachiko

5歳よりクラシックバレエの世界に入る。以後、韓国舞踊、日本舞踊、アルゼンチンタンゴの研鑽を積む一方、85年よりフラメンコ舞踊を学び始める。小島章司、わりさや憂羅、小林伴子に師事。来日中のラウル夫妻に見出され、渡西。クラシックバレエをスペイン国立バレエ団講師のアリシア・デ・ラ・コルテ女史に、クラシコ・エスパニョールをパシータ・トーマスとホアキン・ビジャ夫妻に、フラメンコ舞踊をラウル氏、及びシロー、マノレーテ、パコ・ロメロ氏に師事。帰国後は、独自の創作舞踊公演を行っている。武蔵野美術大学などで非常勤講師。比較舞踊学会会員(2023年比較舞踊学会理事)・日本スポーツ社会学会会員

稲津 清一 Inazu Seiichi



染谷ひろし氏に師事、フラメンコギターの他、クラシック、ボサ、ポピュラー、作曲法等学ぶ。1991~92年渡西、舞踊伴奏修行する。各フラメンコ公演や芝居、TVドラマにも出演。東新宿フラメンコスタジオアリアーテにてギター・リズム講座開講中。

永瀧 三貴生 Nagagata Mikio



数々のライブやレコーディングなどの音楽活動を行なう中、フラメンコに出会い、傾倒する。2003年よりカンタオールとしてタブラオ、劇場等で本格的に活動。2007年日本フラメンコ協会第16回新人公演奨励賞受賞。

企画・進行：山下 純照（文芸学部芸術学科教授）

会場

成城大学
3号館1階 学生ホール
(小田急線成城学園前駅
中央改札北口徒歩4分)

アクセスご案内 ▼



参加申込

1月12日(月)までにイベントページの事前申請フォームより イベントページ ▼
お申込みください。

※本ワークショップは「芸術学・美術史実習b」の一環として実施されます。
※参加費無料・先着順（定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます）
※未就学児の入場はご遠慮ください。

